

# Top Interview

— 変革に挑む —

まとめ／堀水潤一 撮影／平山 諭

学校法人  
城西大学  
理事長  
水田宗子



## 学問による人間形成を掲げて50年。 リーディング・ユニバーシティを目指し グローバル人材の育成を加速させる

### 戦

後復興が軌道に乗り日本が立ち上がる契機となったのが1964年の東京オリンピックです。その翌年に城西大学は創立しました。創設者、水田三喜男は大蔵大臣を7期務めるなど日本の復興に尽力した政治家であり、教育者です。高度経済成長の道筋ができ、国際社会での新しい役割が求められようとしたとき、それを担うのは若い世代だと考えた創設者は「学問による人間形成」を目的に本学を設立しました。以降、83年に城西大学女子短期学部(現城西短期大学)を、92年には城西国際大学を設立し、幅広い教養と深い専門性をもって問題解決にあたることのできる国際人を育成してきました。

私はイェール大学修了後、83年までアメリカの大学で教鞭をとっていました。当時、アメリカの大学は冬の時代といわれ、立て直しのための組織改革、意識改革がすごい勢いで進んでいました。そうした体験が、帰国後、本学園の改革にも生かされました。

2015年は創立50周年にあたります。節目の年を迎えるにあたり、本学園では7つのヴィジョンを策定し、それを具現化し、実現することによって、「日本、アジアそして世界のリーディング・ユニバーシティ」になることを目指します。例えば、城西・城西国際大学の両キャンパスがある紀尾井町キャンパスでは、「社会貢献と存在価値の向上の創出」を目指し、災害備蓄庫を完備し、有事

の際に地域住民の避難場所にもなる3号棟を開設いたしました。また、3号棟は国際会議場や最新鋭の多目的スタジオ、化石ギャラリーなどさまざまな教育・研究活動に対応しています。

さらに、グローバル人材の育成を目指し、本学園では、北米や東アジアはもとより、中欧やASEAN諸国の大学との連携にも力を入れています。いずれも独自の文化を保ちながらグローバルな志向をもつ国々です。言語と文化と民族がワンセットであるかのような社会で育った日本の若者が、こつした多言語・多文化社会で育った若者と触れ合ったときの刺激に期待しています。特に、城西国際大学ではすべての授業を英語で行う「All English BA Program」があり日本人学生や留学生に好評です。今後、外国人や女性教員の割合を増やしたり、ダブルディグリーなどの制度を拡充したりしながら、グローバルイゼーションに対応していくつもりです。

加えて、自然科学系の教育も充実させます。技術の開発や発展はもはや国内で完結するものではありません。人文科学と自然科学分野をつなぐ学際的な教育プログラムを充実させていくこともまた、グローバルな人材を育てることに繋がると考えています。

【理事長プロフィール】みずた・のりこ●東京女子大学文理学部卒業。イェール大学大学院博士号(Ph.D.)取得。メリー・マウント大学英文学部助教授、スクリッps大学英文学部助教授、南カリフォルニア大学比較文学部助教授・准教授などを経て、1986年学校法人城西大学専務理事(～2004)。92年より城西国際大学人文学部教授。96年城西国際大学学長(～09)。2004年より現職。

【大学プロフィール】1965年城西大学創立。経済学部、経営学部、現代政策学部、理学部、薬学部  
1992年城西国際大学創立。経営情報学部、国際人文学部、福祉総合学部、薬学部、メディア学部、観光学部、環境社会学部、看護学部